

平成 23 年 10 月 27 日
財団法人 日本分析センター

ドーピング禁止物質・規制薬物の分析に関わる倫理委員会審議結果について

日本分析センターでは、平成 23 年 10 月 20 日に当センター内・外の中立委員で構成される研究倫理委員会を開催し、当センターアンチ・ドーピング研究所より審査請求のあった三件のドーピング検査方法開発事業と、一件の国際委託研究の実施を承認いたしましたので、ご案内申し上げます。

記

(1)ドーピング検査法開発事業三件(期間 1 年間)

- 1) ドーピング検査試料の一貫性を保証するための遺伝子解析による検体識別法
- 2) 遺伝子解析手法による、内在性ドーピング物質の生理的異常とドーピングの識別
- 3) エリスロポエチン類似物の系統的識別

(2)国際機関:世界反ドーピング機構(WADA)による委託研究一件(研究開始より 1 年間)

- 1) Novel methods for identification of recombinant glycoprotein hormones

今後とも、高度の技術を駆使した研究開発と外部への技術移転により、スポーツ界のアンチドーピングの普及に貢献して行く所存です。

以上